



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月2日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑田 守
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	252,325	25.4	30,307	0.5	43,618	35.9	28,444	31.0
2022年3月期第1四半期	201,201	28.5	30,148	—	32,090	—	21,709	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 33,635百万円(39.9%) 2022年3月期第1四半期 24,039百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	89.39	89.34
2022年3月期第1四半期	68.24	68.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,133,216	776,788	64.0
2022年3月期	1,087,667	759,724	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 725,292百万円 2022年3月期 708,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	550,000	28.3	54,000	△17.3	63,000	△8.6	43,000	△6.6	135.13
通期	1,130,000	23.0	101,000	△29.9	111,000	△30.8	74,000	△31.4	232.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	325,080,956株	2022年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	6,874,116株	2022年3月期	6,873,424株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	318,207,206株	2022年3月期1Q	318,146,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の4ページをご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
3. 補足情報	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)の世界経済は、各国で新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進み、消費や設備投資の拡大を基盤に概ね回復基調で推移いたしました。一方で、ウクライナ問題や中国ゼロコロナ政策の長期化が懸念される中、資源価格の高騰、急激なインフレ、世界的な供給網の混乱などが景気減速リスクとなっており、国内外の景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、ナフサ等の原燃料価格の上昇による販売価格の上昇や円安進行により、2,523億円と前年同期に比べ511億円(25.4%)の増収となりました。営業利益は、ナフサや石炭等の原燃料高の影響が販売価格上昇の影響を上回ることによって交易条件が悪化した一方、販売数量の増加や在庫受払差の改善があり、303億円と前年同期に比べ2億円(0.5%)の増益となりました。経常利益は、円安進行により為替差益に転じたことにより436億円と前年同期に比べ115億円(35.9%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、284億円と前年同期に比べ67億円(31.0%)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石油化学事業

エチレン、プロピレン、キュメン等のオレフィン製品は、定修年による生産量の減少に伴い出荷が減少いたしました。また、ナフサ価格の上昇により、エチレン及びプロピレンの製品価格は上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内輸出ともに出荷が減少いたしました。ナフサ価格及び海外市況の上昇を反映して製品価格は上昇いたしました。クロロブレンゴムは、国内輸出ともに出荷は前年同期並みに推移いたしました。また、需給のひっ迫や原材料価格高騰を背景に製品価格は上昇いたしました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ72億円(17.4%)増加し487億円となり、営業利益は、オレフィン製品やポリエチレン樹脂の出荷減少に加え、ナフサ等原燃料価格上昇による交易条件の悪化により、前年同期に比べ20億円(43.5%)減少し27億円となりました。

クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。また、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、いずれも生産量の増加等に伴い出荷が増加いたしました。また、国内価格の是正等により塩化ビニル樹脂の製品価格は上昇いたしました。

セメントは、需要低調により国内出荷が減少いたしました。国内輸出ともに製品価格は上昇いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、生産量の増加に伴い国内外で出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ280億円(37.9%)増加し1,020億円となり、営業利益は、ナフサや石炭等の原燃料価格上昇による交易条件の悪化により、前年同期に比べ20億円(17.4%)減少し97億円となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、前年同期並みの出荷となりましたが、海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が堅調に推移いたしました。診断関連商品は、中国向けを中心に体外診断用医薬品の出荷が減少いたしました。

ハイシリカゼオライトは、前年同期並みの出荷となりました。ジルコニアは、欧州向け歯科材料用途を中心に出荷が増加いたしました。石英ガラスは、半導体需要の拡大に伴い出荷が増加いたしました。電解二酸化マンガンは、米国における需給緩和の影響で出荷が減少いたしました。価格是正により国内外の製品価格は上昇いたしました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ94億円（17.5%）増加し627億円となり、営業利益は、石炭等の原燃料価格上昇による在庫受払差の改善などにより、前年同期に比べ28億円（24.5%）増加し141億円となりました。

エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業

水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野を中心に受注した国内外の大型案件の工事が順調に進捗したことから、売上高が増加いたしました。

建設子会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ52億円（22.2%）増加し286億円となり、営業利益は前年同期に比べ15億円（84.1%）増加し33億円となりました。

そ の 他 事 業

商社等その他事業会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ13億円（14.8%）増加し103億円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ0億円（8.4%）減少し5億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前期末に比べ455億円増加し1兆1,332億円となりました。

負債は、短期借入金の増加等により、前期末に比べ285億円増加し3,564億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ171億円増加し7,768億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表した「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2023年3月期の連結業績予想を「未定」としておりましたが、現時点で入手可能な情報をもとに業績予想を下記のとおり修正いたしました。

2023年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	550,000	54,000	63,000	43,000	135.13
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績(2022年3月期第2四半期)	428,515	65,322	68,954	46,031	144.68

2023年3月期 通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	1,130,000	101,000	111,000	74,000	232.55
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	918,580	144,045	160,467	107,938	339.23

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,516	143,948
受取手形、売掛金及び契約資産	259,631	280,194
商品及び製品	119,145	134,005
仕掛品	15,535	21,347
原材料及び貯蔵品	56,983	65,771
その他	30,125	33,795
貸倒引当金	△659	△655
流動資産合計	642,278	678,407
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	114,632	122,819
土地	68,599	68,675
その他（純額）	143,474	144,400
有形固定資産合計	326,706	335,895
無形固定資産	6,945	7,959
投資その他の資産		
投資有価証券	59,323	58,037
退職給付に係る資産	30,251	30,545
その他	22,940	23,154
貸倒引当金	△778	△783
投資その他の資産合計	111,737	110,954
固定資産合計	445,389	454,809
資産合計	1,087,667	1,133,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,441	125,805
短期借入金	63,662	88,812
未払法人税等	34,584	13,159
引当金	15,309	6,915
その他	42,881	62,052
流動負債合計	269,878	296,745
固定負債		
長期借入金	28,243	28,959
引当金	1,348	1,495
退職給付に係る負債	20,787	20,928
その他	7,685	8,298
固定負債合計	58,064	59,682
負債合計	327,943	356,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,327	45,219
利益剰余金	601,344	613,871
自己株式	△10,018	△10,019
株主資本合計	691,826	704,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,479	9,603
繰延ヘッジ損益	△25	△26
為替換算調整勘定	759	5,798
退職給付に係る調整累計額	5,876	5,672
その他の包括利益累計額合計	17,089	21,047
新株予約権	178	178
非支配株主持分	50,629	51,317
純資産合計	759,724	776,788
負債純資産合計	1,087,667	1,133,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	201,201	252,325
売上原価	140,868	187,467
売上総利益	60,332	64,857
販売費及び一般管理費	30,184	34,550
営業利益	30,148	30,307
営業外収益		
受取利息	76	122
受取配当金	1,086	1,200
為替差益	—	10,455
持分法による投資利益	467	601
その他	816	1,536
営業外収益合計	2,447	13,915
営業外費用		
支払利息	278	274
為替差損	62	—
その他	163	328
営業外費用合計	504	603
経常利益	32,090	43,618
特別利益		
固定資産売却益	64	12
投資有価証券売却益	24	—
特別利益合計	88	12
特別損失		
固定資産売却損	36	3
固定資産除却損	339	1,009
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	378	1,013
税金等調整前四半期純利益	31,800	42,618
法人税等	9,677	13,483
四半期純利益	22,123	29,134
非支配株主に帰属する四半期純利益	413	690
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,709	28,444

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	22,123	29,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,175	△903
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	4,232	5,399
退職給付に係る調整額	△215	△202
持分法適用会社に対する持分相当額	74	208
その他の包括利益合計	1,915	4,500
四半期包括利益	24,039	33,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,040	32,402
非支配株主に係る四半期包括利益	998	1,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	41,467	74,001	53,309	23,412	9,009	201,201	—	201,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,084	9,464	3,337	4,160	13,676	50,724	△50,724	—
計	61,552	83,466	56,647	27,572	22,685	251,925	△50,724	201,201
セグメント利益	4,713	11,725	11,351	1,800	557	30,148	—	30,148

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	48,668	102,040	62,663	28,606	10,346	252,325	—	252,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,624	12,064	5,730	12,934	15,793	86,148	△86,148	—
計	88,293	114,105	68,393	41,541	26,140	338,474	△86,148	252,325
セグメント利益	2,665	9,685	14,131	3,314	510	30,307	—	30,307

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

2022年度第1四半期連結決算概要

2022年8月2日

東ソー株式会社

(1)業績

(単位:億円)

	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増 減	2022年度(予想)
売 上 高	2,012	2,523	511	11,300
営 業 利 益	301	303	2	1,010
経 常 利 益	321	436	115	1,110
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	217	284	67	740
1株当たり四半期(当期)純利益	68円24銭	89円39銭	21円15銭	232円55銭

(2)指標

	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増 減	2022年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	109.5	129.7	20.2	130.9
為替[TTM期中平均](円/EUR)	131.9	138.3	6.3	139.5
国産ナフサ価格(円/KL)	47,700	86,100	38,400	80,775

(3)トピックス

- 2022年度 冬 予定 臭素の生産能力を増強
- 2024年 夏 予定 分離精製剤の生産能力を増強
- 2025年 夏 予定 スパッタリングターゲット製造設備の生産能力を増強
- 2026年 春 予定 バイオマス発電所を新設

(4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	415	487	72	△ 80	152	—	—
	営業利益	47	27	△ 20	△ 13	—	△ 29	21
クロル・アルカリ	売上高	740	1,020	280	70	210	—	—
	営業利益	117	97	△ 20	82	—	△ 141	39
機能商品	売上高	533	627	94	13	80	—	—
	営業利益	114	141	28	6	—	△ 9	30
エンジニアリング	売上高	234	286	52	43	9	—	—
	営業利益	18	33	15	15	—	0	0
その他	売上高	90	103	13	1	13	—	—
	営業利益	6	5	0	0	—	0	0
合計	売上高	2,012	2,523	511	47	464	—	—
	営業利益	301	303	2	90	—	△ 179	90

(注) 億円未満は四捨五入

(5) 業績予想

(単位:億円)

		2021年度	2022年度(予想)	増 減
石油化学	売上高	1,772	2,385	613
	営業利益	157	149	△ 8
クロル・アルカリ	売上高	3,616	4,548	932
	営業利益	695	182	△ 513
機能商品	売上高	2,262	2,669	406
	営業利益	435	513	78
エンジニアリング	売上高	1,163	1,326	163
	営業利益	123	140	17
その他	売上高	373	373	0
	営業利益	31	27	△ 4
合計	売上高	9,186	11,300	2,114
	営業利益	1,440	1,010	△ 430

(注) 億円未満は四捨五入